

# Qualtrics講習会

SONG Jaehyun (同志社大学)

高知工科大学 経済・マネジメント学群

2020年12月8日@Zoom

# 講師紹介



LINE Storeで絶賛販売中!

- ・ 宋財沘 (そん じえひょん)
- ・ 同志社大学文化情報学部 助教
- ・ 博士 (政治学)
- ・ 政治行動論、政治学方法論
- ・ Qualtrics歴: 約6年
- ・ <https://www.jaysong.net>
  - ・ 講習会のスライドあり (Research > 講演)

# Qualtricsはいいぞ

## 長所

- ・ オンライン調査プラットフォームとしては最強
- ・ GUIで使いやすい
- ・ 豊富な機能（Survey Monkey、Google Formsなどより圧倒的に豊富）
- ・ 外部サーバーとの連携が可能（json形式）→ サーベイ実験の味方
- ・ Lab.jsなどを埋め込むことも可能（らしい）
- ・ 制約はあるが、質問文にJavaScriptを埋め込むことも可能

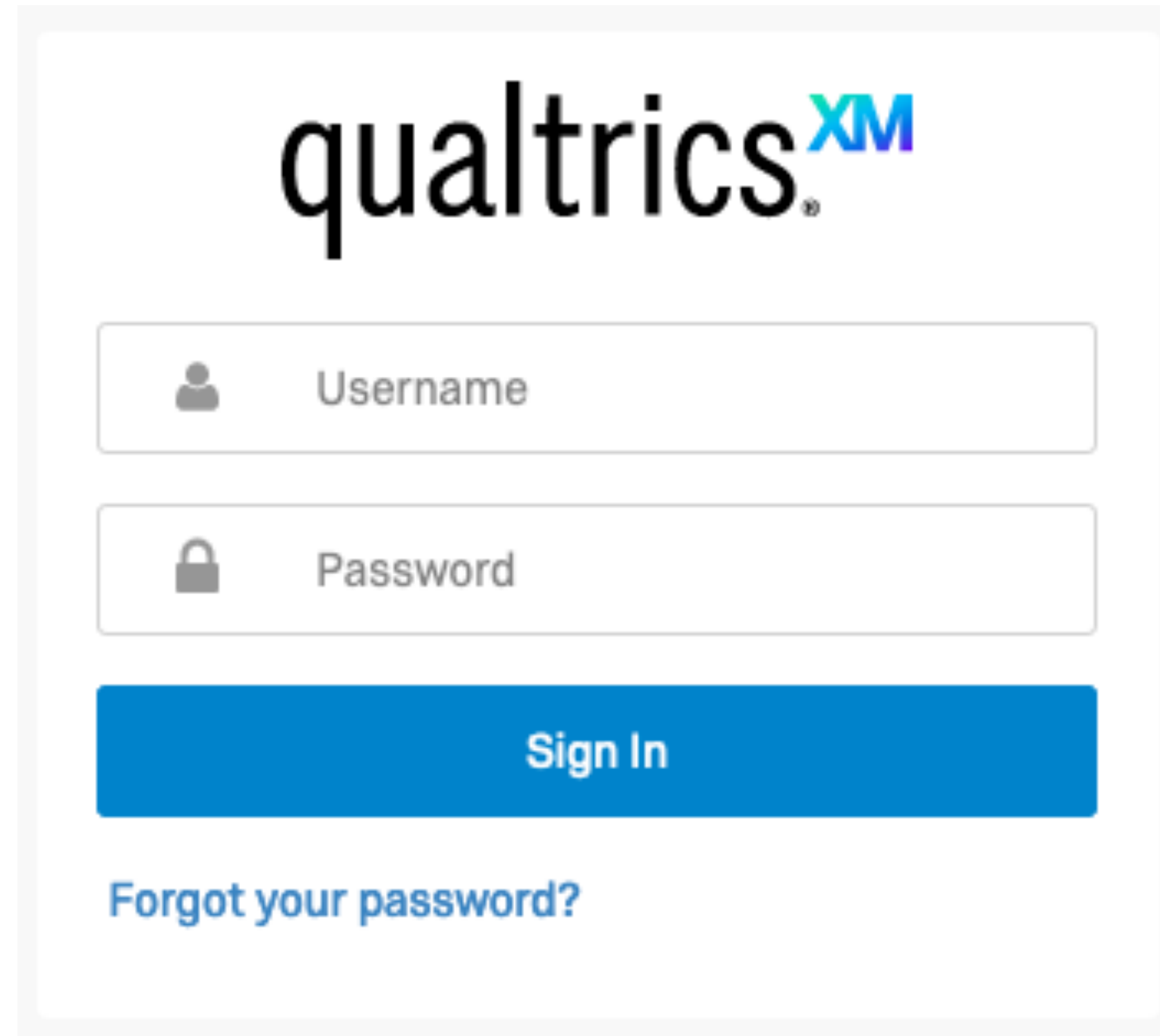
## 短所

- ・ （数年前に比べて）重い、とにかく重い
- ・ 仕様変更が頻繁（逆にどんどん使いやすくなったとも言える）
- ・ 共同作業はできるが同時作業はリスキー
- ・ oTreeなどよりは機能は限られている（oTreeはPythonのフレームワーク）


作りながら学ぼう


# ログイン

- <https://kutecon.au1.qualtrics.com/login>
- IDとパスワードを入力

A screenshot of the Qualtrics login interface. At the top is the Qualtrics logo, with 'qualtrics' in black and 'XM' in blue and purple. Below the logo are two input fields: the first is labeled 'Username' with a person icon, and the second is labeled 'Password' with a lock icon. Below these fields is a blue 'Sign In' button. At the bottom, there is a link that says 'Forgot your password?' in blue text.

qualtrics<sup>XM</sup>


 Username

 Password

Sign In

[Forgot your password?](#)


# 新しい調査票の作成

- ・ 初回は  を選択

- ・  をクリック

- ・ Project Nameを入力し、 

- ・ 本講習会は英語版で解説

- ・ 言語はQualtrics画面右上の  > Account Settingから変更可能

## Change Language

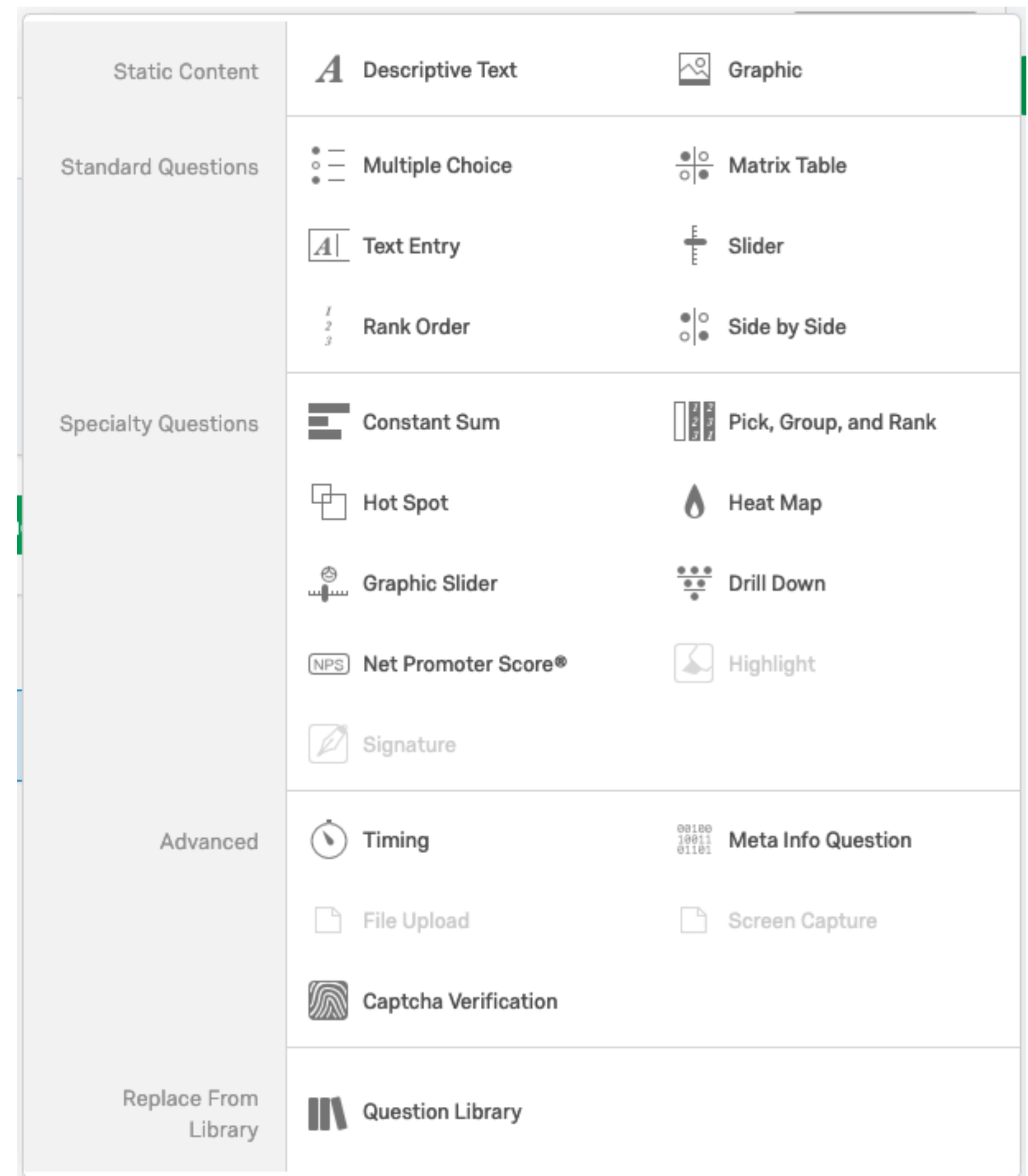
Language

English (US)



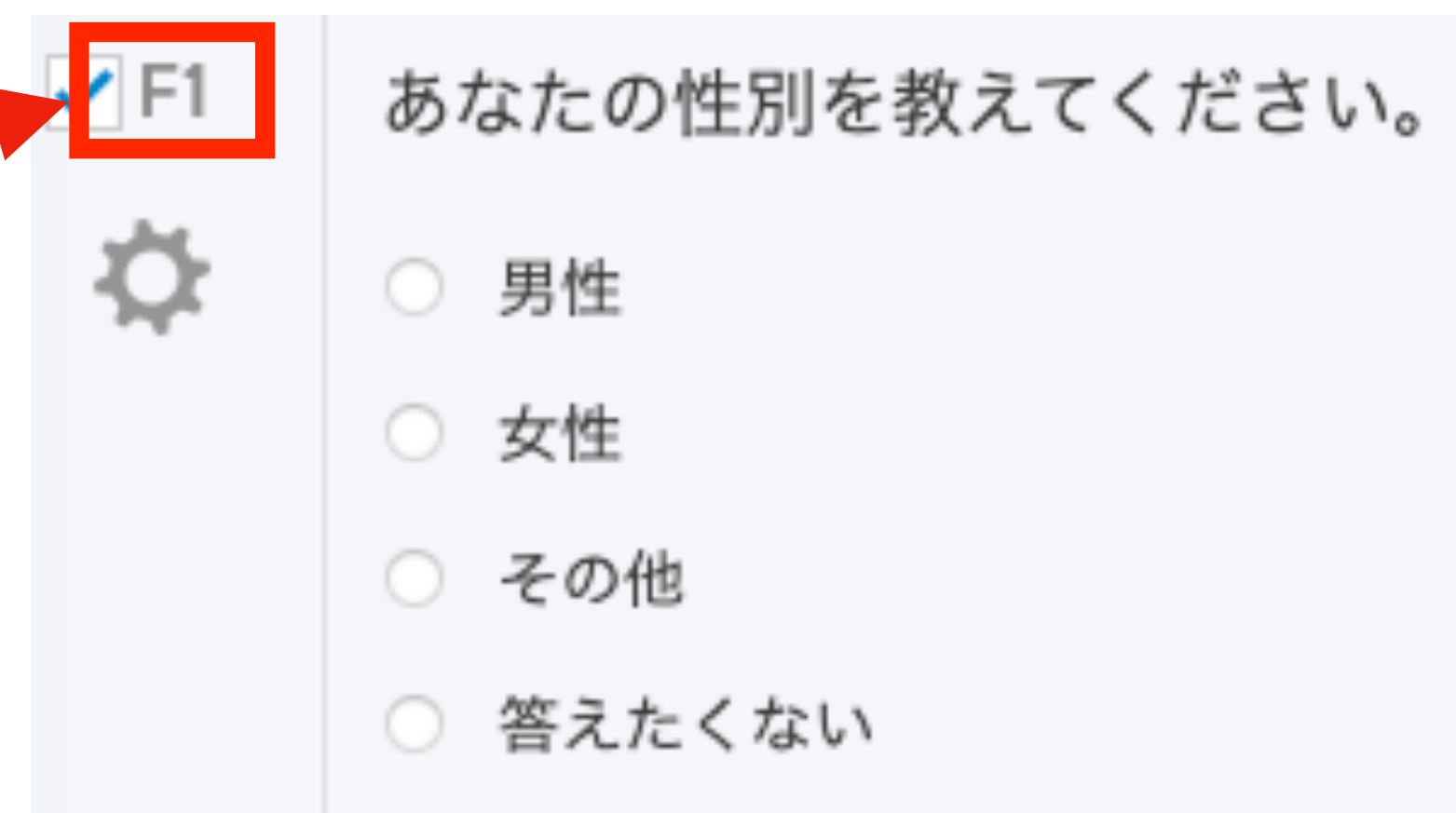
# Qualtricsで作成可能な質問文（KUTの場合）

- **Descriptive Text**：選択肢のない説明文
- **Multiple Choice**：Single Answer / Multiple Answer
- **Matrix Table**：同じ測定尺度の質問文をまとめたもの
- **Text Entry**：自由記述
- **Slider**：スライダー形式
- Rank Order
- Side by Side
- Constant Sum
- Pick, Group, and Rank
- Hot Spot
- Heat Map
- Graphic Slider
- Drill Down
- Net Promoter Score
- **Timing**：タイマー
- **Meta Info Question**：入れておくだけで回答者のデバイス情報取得
- Captcha Verification



# 質問文の追加（単一回答）

- **+ Create a New Question** の右側（v）をクリックし、**質問文タイプ**を指定
  - 今回はMultiple Choice
  - いつでも画面右側のChange Question Typeから変更可能
- 画面右側のChoicesから**選択肢の数**を変更
- **質問文と選択肢の入力**
  - Rich Content Editor、またはHTML Viewから書式付きの質問文作成可
  - 選択肢にHTML使用可
- **質問文の識別子**を設定（例：F1）
  - データをエクスポートする際の変数名



F1

あなたの性別を教えてください。

☐ 男性

☐ 女性

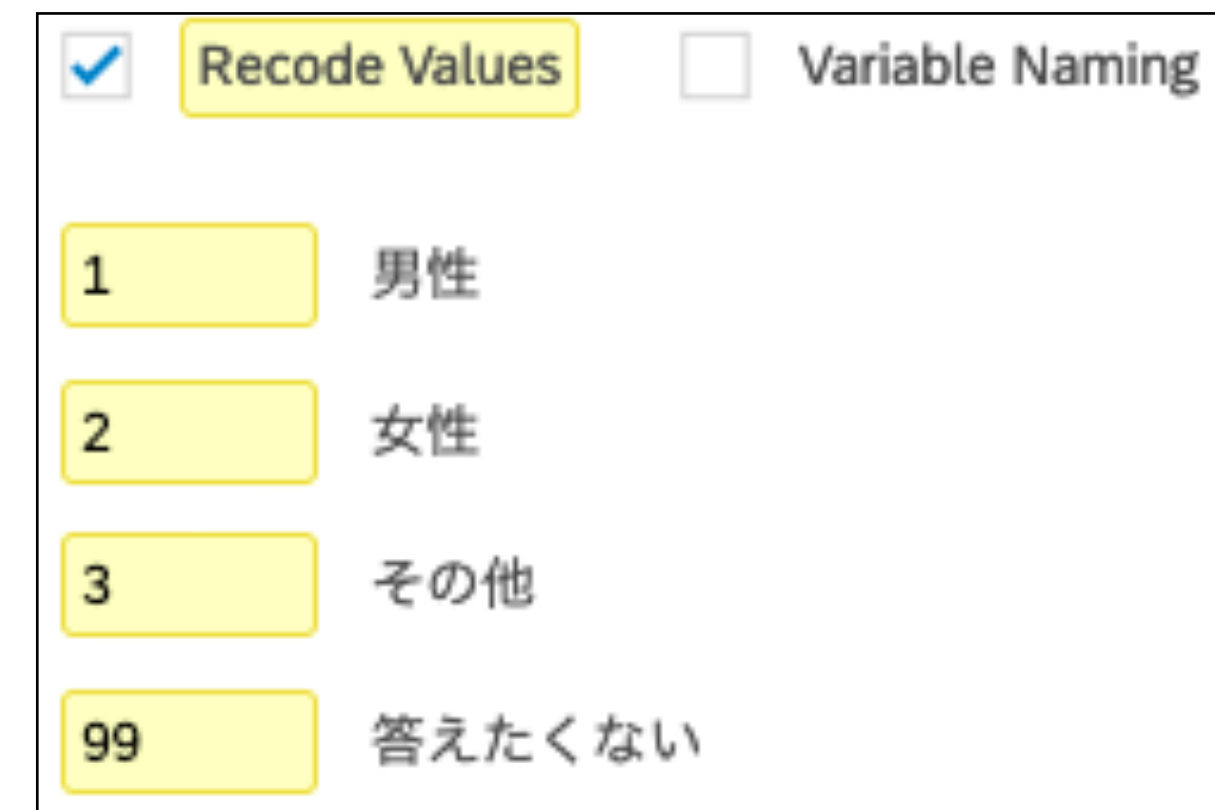
☐ その他

☐ 答えたくない



# 値の再割り当て

- From: 男性 = 1; 女性 = 2; その他 = 3; 答えたくない = 4;
- To: 男性 = 1; 女性 = 2; その他 = 3; 答えたくない = 99;
- 質問文左側の ⚙️ をクリックし、「Recode Values…」
- Recode Valuesにチェックし、値を指定



The image shows the 'Recode Values' dialog box in SPSS. The 'Recode Values' checkbox is checked, and the 'Variable Naming' checkbox is unchecked. Below these, there are four rows of input fields and labels. The first row has '1' in the input field and '男性' (Male) as the label. The second row has '2' in the input field and '女性' (Female) as the label. The third row has '3' in the input field and 'その他' (Other) as the label. The fourth row has '99' in the input field and '答えたくない' (Don't want to answer) as the label.

From	To
1	男性
2	女性
3	その他
99	答えたくない

- 選択肢を頻繁にすると割り当てられた値がずれるケースも多い
  - 値の再割り当ては常に確認しよう

# 強制回答の設定

- Qualtricsの場合、質問に答えず次のページへ進むことが可能

1. 強制回答を設定したい質問文を選択
2. 右側パネルから**Force Response**にチェック
3. 質問文識別子の下の方の\*を確認

Validation Options

☒ Force Response ▾

☒ F1

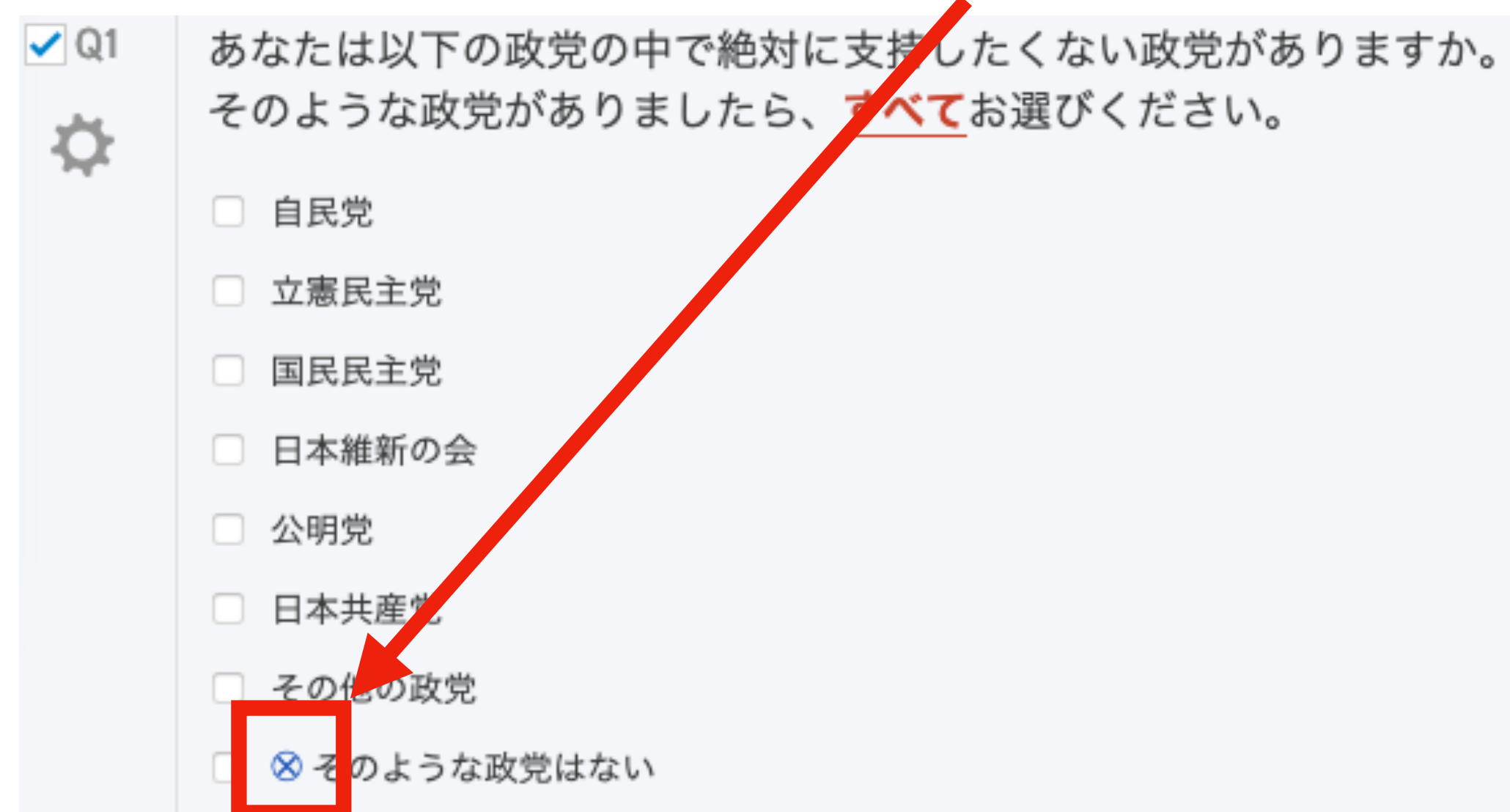


あなたの性別を教えてください。

- ☐ 男性
- ☐ 女性
- ☐ その他
- ☐ 答えたくない

# 質問文の追加（複数回答）

- **+ Create a New Question** の右側 (v) をクリックし、質問文タイプを指定
  - Multiple Choiceの右側の「▼」へマウスカーソルを移動し、「Multiple Answer, Vertical」を選択（色々試してみましょう）
- 選択肢の数、質問文、選択肢、識別子を入力
- 「そのような…」を選択し、右側の「▼」から Make Answer Exclusive
  - 「そのような政党…」を選択するとその他の項目の選択が自動的に解除される。



Q1 あなたは以下の政党の中で絶対に支持したくない政党がありますか。そのような政党がありましたら、**すべて**お選びください。

- ☐ 自民党
- ☐ 立憲民主党
- ☐ 国民民主党
- ☐ 日本維新の会
- ☐ 公明党
- ☐ 日本共産党
- ☐ その他の政党
- ☒ そのような政党はない

# 選択肢のランダムマイズ

- ・ 表示される政党名の順番をランダムにする
  - ・ ただし、「その他の政党」と「そのような政党はない」は下に固定
- ・ 質問文識別子下の ⚙️ をクリックし、Randomizationを選択

ランダム化しない



☒ No Randomization

全選択肢の順番をランダム化



☐ Display answers in a random order

選択肢の中からX個のみ出力



☐ Present only  of total choices

全選択肢の順番をランダムに逆にする



☐ Randomly flip the order of choices

クリック → 詳細設定



☐ Advanced Randomization [Set Up Advanced Randomization](#)

# 選択肢のランダムマイズ（続き）

**Fixed display order**  
Display choices from this list in the order they appear below:

自民党  
立憲民主党  
国民民主党  
日本維新の会  
公明党  
日本共産党  
その他の政党  
そのような政党はない

**Randomize choices**  
Randomize and use all items from this list

>  
<

**Random subset**  
Randomly insert  choices from this list

>  
<

☐ Evenly display choices

**Randomly reverse choices**  
Show choices from this list in original or reversed order

>  
<

☒ Consistently reverse the choice order for all questions with this randomization option selected

**Excluded items**  
Don't display choices from this list

>  
<

- ・ 自民党から日本共産党まで選択し、Randomize choicesの「>」を選択

- ・ Saveで保存 → を確認


←選択した項目の中からX個のみ出力させる


←選択した項目の順番をランダムに逆にする

←選択した項目を非表示にする



# 質問文の追加（説明文）

-  の右側（v）をクリックし、Descriptive Text
- 選択肢のない画面の作成（調査同意書など）

☒ Intro 

## 社会と政策に関する意識調査

宇治梓紗（京都大学）  
Jaehyun Song（同志社大学）  
Sijeong Lim（韓国・高麗大学校）

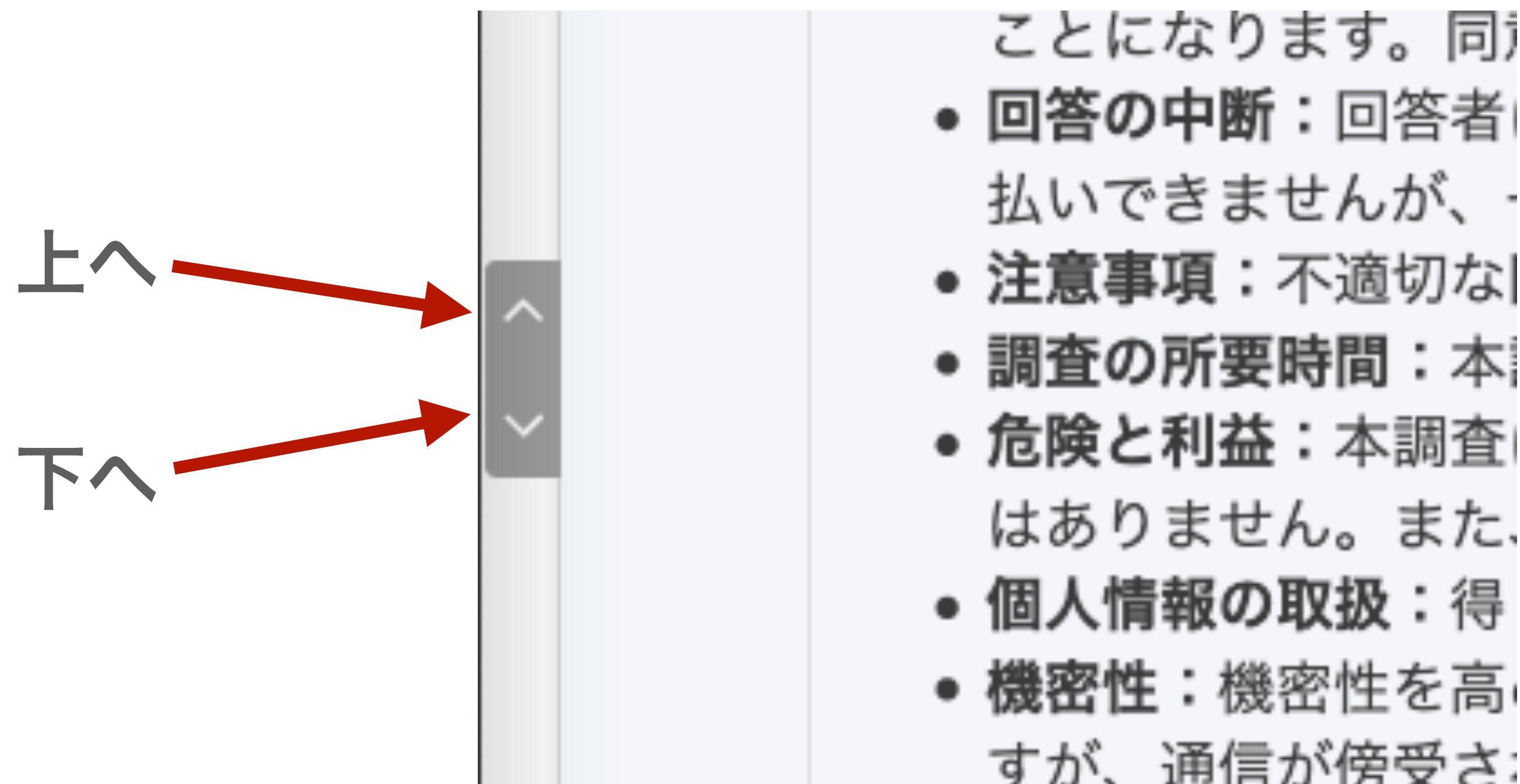
- **調査の目的**：このアンケート調査は、営利目的ではなく、学術研究のみを目的とする調査です。主に社会と政治、政策に関する有権者の態度を測定し、態度を形成する属人的および環境的要因を明らかにすることを目的としております。
- **参加の同意**：本調査への参加は自発的なものでなければなりません。また、本調査への参加は一回しかできません。次のページへ移動することで、参加に同意すると電子的に署名することになります。同意されない方は、現在のウィンドウを閉じて下さい。
- **回答の中断**：回答者によっては、答えづらい設問もあります。もし回答を不快に感じられた場合、あなたはいつでも回答をやめることができます。回答を中断された場合、報酬はお支払いできませんが、一切の罰則や不利益を被ることはありません。
- **注意事項**：不適切な回答を行うことは、調査結果の質を低下させてしまいます。すべての質問に対して、不適切な形で回答しないよう、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。
- **調査の所要時間**：本調査は約20分を想定しています。
- **危険と利益**：本調査における危険性は、あなたが普段の日常生活で経験する範囲を超えているものではありません。また、本調査は特定の政策を支援/反対するためのアンケート調査ではありません。また、あなたがこの調査に協力することによって、不利益を被ることもありません。安心してご回答ください。
- **個人情報の取扱**：得られた回答はすべて統計的に処理し、回答者の属性などがわからないようにします。個人の情報が特定されることはありませんので、安心してご回答ください。
- **機密性**：機密性を高める努力は最大限行いますが、インターネットサーバーにおける機密性の保証はいかなる状況においても完全とは言い切れないため、極めて低い可能性ではありますが、通信が傍受されIPアドレスが特定されることがあり得ます。
- **報酬**：最後の設問まで回答された参加者のみ、調査会社のシステムを通して、本調査の参加後に報酬が与えられます。
- **研究の責任者**：本調査は京都大学、同志社大学、高麗大学（韓国）の研究者が実施しております。
- **研究の資金源**：本調査は、および文部科学省・科学研究費補助金（課題番号：00000, 0000）および韓国XXXXXXの交付を受けた調査です。
- **問い合わせ先**：本調査に関するご質問をお持ちの方や、調査の参加した結果によって損害を被ったと感じた方は調査委託業者までご連絡ください。

以上についてご理解頂けた方は次の画面へ進んでください。同意されない方は、現在のウィンドウを閉じて下さい。





# 質問文の移動

- ・ 質問文左側の「^」 「v」 で移動






# 画面の区切り

- ・ 質問文Aと質問文Bを別画面に出力する場合
  1. 質問文Aを選択
  2. 右側のパネルから  Add Page Break を選択
  3. 質問文AとBの間の区切り線 を確認
- ・ 1 ページが長くないように適宜ページ区切りを挿入する
  - ・ ページ単位で調査単価が決まる場合もある
  - ・ スマホからの回答者を配慮する場合、1画面1問が最適



# 質問文の追加（任意の場所）

- ・ F1 と Q1 の間に質問文を追加
  - ・ F1 にマウスカーソルを移動し、**右下**の  を選択  
または
  - ・ Q1 にマウスカーソルを移動し、**右上**の  を選択
    - ・  は質問文の削除
  - ・ Change Question Typeから質問文タイプを選択する
    - ・ 今回はText Entryを選択してみよう

# 質問文の追加（自由記述）

- ・ 右側パネルから一行（Single Line）、複数行（Multi Line/Essay Text Box）を選択
  - ・ 年齢・収入などなら一行、感想・意見などは複数行が適切
- ・ 自由記述欄のサイズ調整
  - ・ テキストボックス右下をドラッグ

☒ F2

あなたの年齢を半角数字で教えてください。



# 入力内容の検証 (validation)

- 年齢が半角数字、18以上100以下の場合のみ次のページへ進めるように設定
  1. 右側パネルの**Validation Type**でContent Validationを選択
  2. Numberを選択（半角数字をチェック）
  3. Minimum: 18（18以上）
  4. Maximum: 100（100以下）
  5. Max Decimals: 0（小数点なし）
- 様々な形式の検証が可能
  - 例）Elaborate Item Count法において、賛成する項目数と反対する項目数が5でないと次のページへ進めない

The screenshot shows a configuration panel for input validation. It is divided into three sections: 'Validation Type', 'Content Type', and 'Numeric Format'. In the 'Validation Type' section, 'Content Validation' is selected with a blue dot and is enclosed in a red box. In the 'Content Type' section, 'Number' is selected with a blue dot and is enclosed in a red box. In the 'Numeric Format' section, the 'Minimum' field is set to 18, 'Maximum' to 100, and 'Max Decimals' to 0; this entire section is enclosed in a red box.

Validation Type

- ☐ None
- ☐ Minimum Length
- ☐ Maximum Length
- ☐ Character Range
- ☒ Content Validation
- ☐ Custom Validation

Content Type

- ☐ Email Address
- ☐ US Phone Number ▾
- ☐ US State
- ☐ US Postal Code ▾
- ☐ Date (mm/dd/yyyy) ▾
- ☒ Number
- ☐ Text Only (Non-numeric)

Numeric Format

Minimum	18
Maximum	100
Max Decimals	0

# 質問文の追加（ドロップダウン式）

- 選択肢の数が多い場合
  1. F2質問文の次にF3を追加
  2. 質問文を入力
  3. 質問文タイプを**Multiple ChoiceのDropdown List**
  4. 右側パネルChoiceのEdit Multipleを選択（こっちが便利）
  5. 選択肢を入力：選択肢項目は改行で区分

The screenshot displays a survey editor interface with two questions, F2 and F3. Question F2 is titled 'あなたの年齢を半角数字で教えてください。' and has a text input field. Question F3 is titled 'あなたが居住している地域を教えてください。' and has a dropdown menu with '北海道' selected. A right-hand panel is open, showing the 'Multiple Choice' settings for the selected question. The 'Choices' section is active, displaying a list of Japanese prefectures: 北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, and 福島県. The 'Edit Multiple' button is highlighted. The 'Answers' section shows 'Dropdown List' as the selected option.

☐ F2 あなたの年齢を半角数字で教えてください。

☐ F3 あなたが居住している地域を教えてください。

北海道  
青森県  
岩手県  
宮城県  
秋田県  
山形県  
福島県

Multiple Choice

Choices

Done Cancel Edit Multiple

☐ Automatic Choices

Answers

☐ Single Answer

☐ Multiple Answer

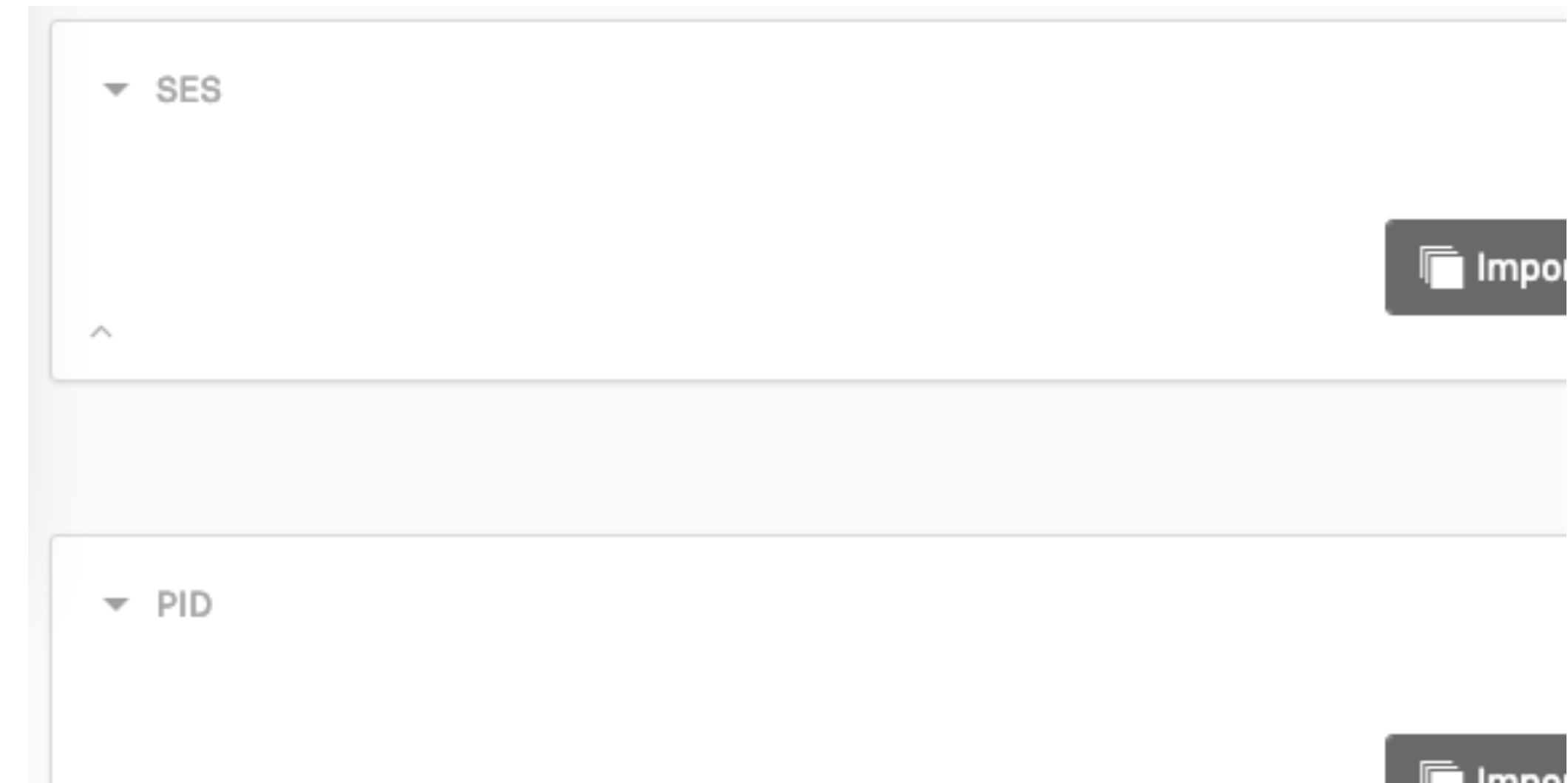
☒ Dropdown List

☐ Select Box

Click here to edit choices

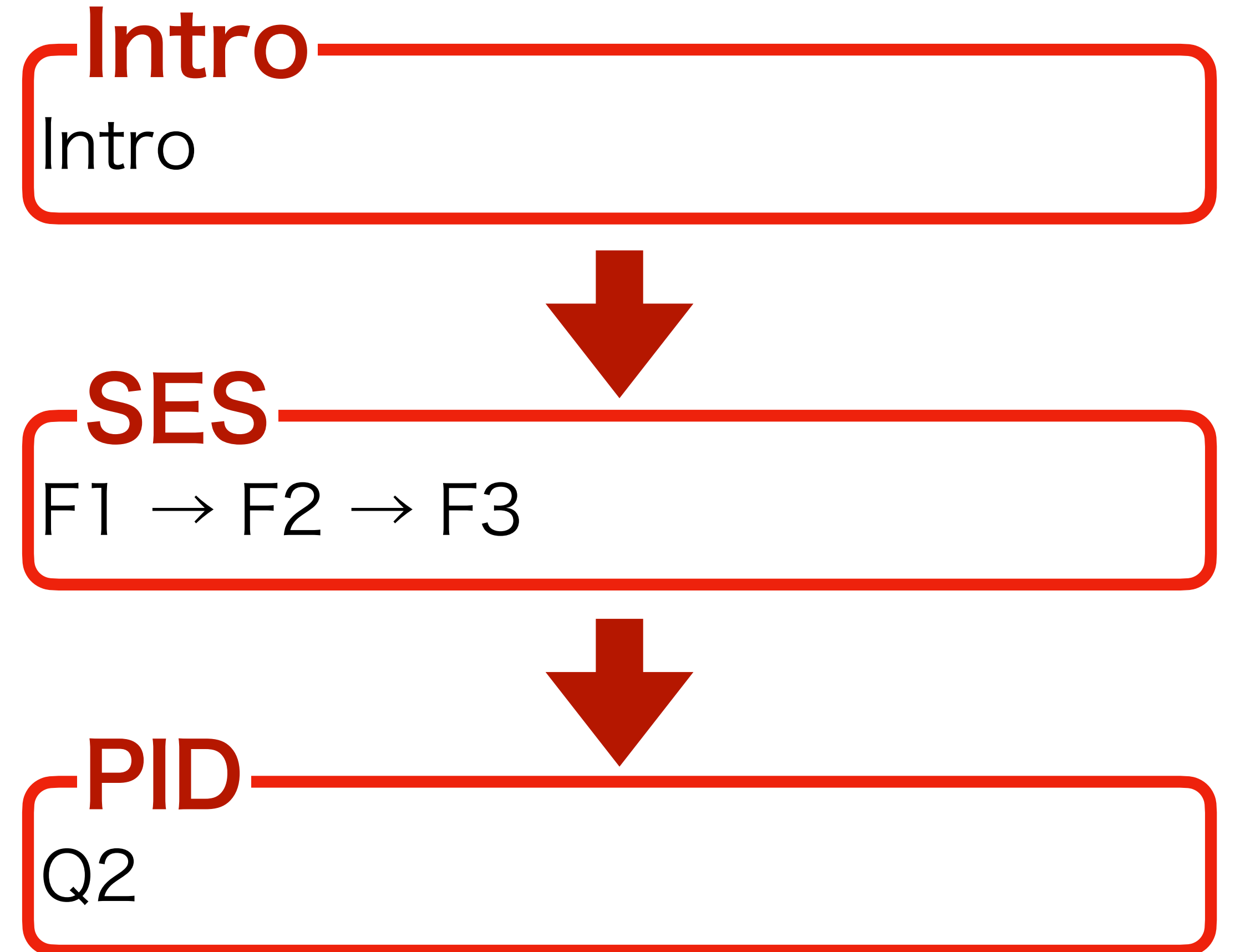
# ブロックの追加

- ブロック：質問文の塊
  - **Survey Flow（後述）はブロック単位の操作**
- 画面下段の**Add Block**をクリックし、ブロックを追加
  - Add Blockボタンはブロックとブロックの間に位置
  - 2つを作成し、SESとPIDと名付ける
  - ブロック名（Block x）をクリックするとブロック名の変更が可能
  - ブロック間は自動的に画面区切り



# ブロックの追加（続き）

- Q1をPIDブロックへ移動
  - Q1の識別子をQ2へ変更
  - 後でQ1を追加する予定
- F1、F2、F3をSESブロックへ移動
- 最初のブロック名をIntroに変更





# 質問文の追加（スライダー）

- Q2の下に質問文を追加し、Q3と名付ける（間に区切り線）
- Question Typeは**Slider**
- 右側パネル
  - Choicesから項目数と項目名を入力
  - Labelsからスライダー上段のラベルを入力
    - 一つなら中間、2つなら両端、3つ以上なら等間隔
  - Grid Lines（目盛り）、Min Value（最小値）、Max Value（最大値）
    - Snap to Grid：目盛りのみ選択可能
  - Options > Not Applicable：無応答の選択肢が追加
  - Options > Custom Start Position：任意の初期値

# スライダーの例

☒ Q3

日本の政治家についてお伺いします。以下の政党に対する感情 (好感度)を温度にたとえてお答えください。それぞれの政党に好意も反感もない場合は50度の位置にバーを動かしてください。好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて51度から100度の位置にバーを動かしてください。逆に、反感を感じていれば、その強さに応じて0度から49度の位置にバーを動かしてください。政党をご存知でなかったり、わからない場合は「DK」をチェックしてください。

	嫌い	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	好き DK
菅義偉													<input type="checkbox"/>
枝野幸男													<input type="checkbox"/>
山口那津男													<input type="checkbox"/>
志位和夫													<input type="checkbox"/>
矢内勇生													<input type="checkbox"/>



# 質問文の追加（マトリックス）

- ・ PIDブロックの下にEfficacyブロックを追加
- ・ Efficacyブロックに質問文（Q4）を追加
- ・ Question Typeは**Matrix Table**
- ・ 右側パネル
  - ・ Statement：質問文
  - ・ Scale Points：選択肢
  - ・ Answers：単一回答（デフォルト）、複数回答、ドロップダウン
    - ・ 質問、または選択肢が多く、スマホの画面に収まらない場合はドロップダウン形式が見やすい

# マトリックス形式の例

## Single Answer (デフォルト)

☒ Q4

有権者と政治や選挙との関わりについてお伺いします。  
以下の意見について、あなたのお考えにもっとも近いものをご選択ください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
選挙では大勢の人が投票するのだから、自分一人くらい投票しなくてもかまわない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分には政府を左右する力はない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
政治とか政府とかは、あまりに複雑なので、自分には何をやっているのか理解できないことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## Dropdown List

☒ Q4

有権者と政治や選挙との関わりについてお伺いします。  
以下の意見について、あなたのお考えにもっとも近いものをご選択ください。

選挙では大勢の人が投票するのだから、自分一人くらい投票しなくてもかまわない

自分には政府を左右する力はない

政治とか政府とかは、あまりに複雑なので、自分には何をやっているのか理解できないことがある

[Click here to edit scale points](#)

# 条件分岐

Q1. 支持政党

- ・ 自民党
- ・ 立憲民主党
- ・ ...
- ・ 支持する政党はない
- ・ 答えたくない

「支持する政党はない」を選択しない  
かつ (and)  
「答えたくない」を選択しない

Q1S1. あなたはその政党の熱心な支持者ですか

- ・ 熱心な支持者である
- ・ 熱心な支持者ではない

「支持する政党はない」を選択

Q1S2. あえて選ぶとすれば、...

- ・ 自民党
- ・ 立憲民主党
- ・ ...

「答えたくない」を選択

Q2へ

# 条件分岐の例（政党帰属意識）

- PIDブロックにQ1 → Q1S1 → Q1S2を作成（Q2より上）
  - 「その他の政党」右側の▼ > Allow Text Entry で自由記述欄が追加可能

Q1

Q1

あなたはふだんの政党を支持していますか。次の中から1つだけお選びください。選択肢の中に支持する政党がない場合は「その他の政党」を選んだ上で、支持している政党名をご記入ください。

- ☐ 自民党
- ☐ 立憲民主党
- ☐ 国民民主党
- ☐ 日本維新の会
- ☐ 公明党
- ☐ 日本共産党
- ☐ その他の政党
- ☐ 支持する政党はない
- ☐ 答えたくない

Q1S2

☒ Q1S2

あえて選ぶとすれば、どの政党を支持しますか。

- ☐ 自民党
- ☐ 立憲民主党
- ☐ 国民民主党
- ☐ 日本維新の会
- ☐ 公明党
- ☐ 日本共産党
- ☐ その他の政党
- ☐ 支持する政党はない

Q1S1



☐ Q1S1

あなたはその政党の熱心な支持者ですか、それとも熱心な支持者ではありませんか。

- ☐ 熱心な支持者である
- ☐ 熱心な支持者ではない







# 条件分岐の設定（1）

- ・ Q1S1の  を選択し、**Add Display Logic**を選択
- ・ Q1S1は出現する条件を指定
  - ・ 質問（Question） Q1において「支持する政党はない」が選択されない（Is Not Selected）
  - ・ かつ（And） 、
  - ・ 質問（Question） Q1において「答えたくない」が選択されない（Is Not Selected）
- ・ 「 Save」をクリック

**Display Logic** (あなたはその政党の熱心な支持者ですか、それとも熱心な支持者ではありませんか。)

Display this Question only if the following condition is met:





Question ▾	Q1 あなたはふだんの政党を支持...いる政党名をご記入ください。... ▾	支持する政党はない ▾	Is Not Selected ▾	 	
And ▾	Question ▾	Q1 あなたはふだんの政党を支持...いる政党名をご記入ください。... ▾	答えたくない ▾	Is Not Selected ▾	 

# 条件分岐の設定（2）

- ・ Q1S2のを選択し、**Add Display Logic**を選択
- ・ Q1S2は出現する条件を指定
  - ・ 質問（Question） Q1において「支持する政党はない」が選択される（Is Selected）
- ・ 「Save」をクリック

**Display Logic** (あなたはその政党の熱心な支持者ですか、それとも熱心な支持者ではありませんか。)

Display this Question only if the following condition is met:


Question ▾	Q1 あなたはふだんの政党を支持...いる政党名をご記入ください。... ▾	支持する政党はない ▾	Is Not Selected ▾	 	
And ▾	Question ▾	Q1 あなたはふだんの政党を支持...いる政党名をご記入ください。... ▾	答えたくない ▾	Is Not Selected ▾	 

☐ In Page

Close

 Save

# 条件分岐の確認

- 画面上段の  Preview を選択し、調査票のプレビュー
  - Mobile View Onをチェックするとスマホ画面も表示
- 表示ロジックが正しく設定されているか確認する



The screenshot displays a survey preview interface. At the top, there are two buttons: "Restart Survey" and "Place Bookmark". On the right side, there is a toggle switch for "Mobile view on" which is currently turned on, and a "Tools" dropdown menu. The main content area is split into two panels. The left panel shows the desktop version of the survey, which includes the NIT logo, the question "あなたの性別を教えてください。", four radio button options: "男性", "女性", "その他", and "答えたくない", and a blue arrow button at the bottom right. The right panel shows the mobile version of the same survey, which is displayed within a smartphone frame. It includes the same NIT logo, question, and options, but the layout is adapted for a smaller screen. At the bottom of the mobile view, it says "Powered by Qualtrics" with a small icon.


# 質問文のランダム化

質問文の順番、出現する質問数をランダム化する2つの方法

## 1. ブロック内ランダム化

- ・ ブロック内の質問文が対象
- ・ 各ブロック最上段右側の Block Options ▾ > Question Randomization
- ・ 出現順番はデータエクスポートの際、「Export viewing order data for randomized surveys」を選択する必要がある（処理がやや面倒くさい）

## 2. ブロックのランダム化（※は主にこれを利用）

- ・ 質問文単位でなくブロック単位
- ・ Survey Flowを利用（画面上段の  Survey Flow）
- ・ 本講習会ではこれを説明（1.は選択肢のランダム化と非常に似ている）



# Survey Flowの使い方

# Survey Flowで出来ること（よく使う機能）

- ・ **ブロックのランダムイズ** (Randomizer)
  - ・ 複数のブロックの出現順番のランダム化
  - ・ 複数のブロックから無作為にX個のブロックを出現させる
- ・ **ブロックの条件分岐** (Branch)
  - ・ 一定の条件を満たす場合、特定のブロックを出現させる
- ・ 埋め込みデータの指定 (Embedded Data)
  - ・ GETメソッドで受け取ったパラメーターの保存にも使用可能
  - ・ 専門調査会社のシステムと接続するために必要
- ・ POST・GETメソッドでパラメーターを送信、json形式でパラメーターを受信 (Web Service)
- ・ ブロックのグループ化 (Group)
  - ・ 「ブロックのブロック」って感じ
- ・ 調査終了ブロックの追加 (End of Survey)

# Randomizerの使い方

- ・ 3つのブロックから1つのブロックのみを出力
- ・ Controlブロック（Question Type: Descriptive Text）

▼ Control

Block Options ▼

☐

Control

海洋プラスチック汚染は、世界的に喫緊の環境問題となっています。科学者たちは、海洋中のプラスチック破片が海洋生物の生命を脅かすだけでなく、魚介類を食べる人々に対しても毒性があることを示しています。このような有害物質の摂取は、がん、免疫機能の低下、知的障害などの健康被害を引き起こす可能性があります。日本および韓国周辺の海洋におけるプラスチック汚染のレベルは、世界で最も高いレベルと言われています。日本と韓国の各国で発生したプラスチック廃棄物は、海流の循環により相手国の沿岸水域に到達し、深刻な海洋汚染を引き起こしています。

この問題に対処するため、両政府は、使い捨てのプラスチック製容器に課税することを検討しています。税収はすべて、二国間の海洋汚染協調のために使われる予定です。両政府は500mlペットボトル1本当たりの税の価格として、最大20円（約200ウォン）までを検討しています。

Import Questions From...

Create a New Question ▼

^

- ・ Treatment1ブロック（Question Type: Descriptive Text）

▼ Treatment 1

Block Options ▼

☐

Treat1

海洋プラスチック汚染は、世界的に喫緊の環境問題となっています。科学者たちは、海洋中のプラスチック破片が海洋生物の生命を脅かすだけでなく、魚介類を食べる人々に対しても毒性があることを示しています。このような有害物質の摂取は、がん、免疫機能の低下、知的障害などの健康被害を引き起こす可能性があります。日本および韓国周辺の海洋におけるプラスチック汚染のレベルは、世界で最も高いレベルと言われています。日本と韓国の各国で発生したプラスチック廃棄物は、海流の循環により相手国の沿岸水域に到達し、深刻な海洋汚染を引き起こしています。

この問題に対処するため、両政府は、使い捨てのプラスチック製容器に課税することを検討しています。税収はすべて、二国間の海洋汚染協調のために使われる予定です。両政府は500mlペットボトル1本当たりの税の価格として、最大20円（約200ウォン）までを検討しています。韓国人を対象に行われた調査では、韓国人は5円（約50ウォン）まで税金を負担する意思があると答えました。

Import Questions From...

Create a New Question ▼

^

# Randomizerの使い方（続き）

- Treatment2ブロック（Question Type: Descriptive Text）

Treatment 2

Block Options ▾

Treat2

⚙

海洋プラスチック汚染は、世界的に喫緊の環境問題となっています。科学者たちは、海洋中のプラスチック破片が海洋生物の生命を脅かすだけでなく、魚介類を食べる人々に対しても毒性があることを示しています。このような有害物質の摂取は、がん、免疫機能の低下、知的障害などの健康被害を引き起こす可能性があります。日本および韓国周辺の海洋におけるプラスチック汚染のレベルは、世界で最も高いレベルと言われています。日本と韓国の各国で発生したプラスチック廃棄物は、海流の循環により相手国の沿岸水域に到達し、深刻な海洋汚染を引き起こしています。

この問題に対処するため、両政府は、使い捨てのプラスチック製容器に課税することを検討しています。税収はすべて、二国間の海洋汚染協調のために使われる予定です。両政府は500mlペットボトル1本当たりの税の価格として、最大20円（約200ウォン）までを検討しています。韓国人を対象に行われた調査では、韓国人は15円（約150ウォン）まで税金を負担する意思があると答えました。

Import Questions From...

+ Create a New Question ▾

- Outcomeブロック（Question Type: Slider）

Outcome

Block Options ▾

Outcome

⚙

あなたは500mlのペットボトル1本当たり、税金をいくらまで負担する意志がありますか。


税額

05101520

Import Questions From...

+ Create a New Question ▾

# Randomizerの使い方（続き）

- ・画面上段の  Survey Flow をクリック
- ・Efficacyブロックの「Add Below」を選択
  - ・ブロックは自由に移動できるため、どこでもOK

	<a href="#">Add Below</a>	<a href="#">Move</a>	<a href="#">Duplicate</a>	<a href="#">Delete</a>
 <b>Show Block: Efficacy</b> (1 Question)	<a href="#">Add Below</a>	<a href="#">Move</a>	<a href="#">Duplicate</a>	<a href="#">Delete</a>
 <b>Show Block: Control</b> (1 Question)	<a href="#">Add Below</a>	<a href="#">Move</a>	<a href="#">Duplicate</a>	<a href="#">Delete</a>
 <b>Show Block: Treatment 1</b> (1 Question)	<a href="#">Add Below</a>	<a href="#">Move</a>	<a href="#">Duplicate</a>	<a href="#">Delete</a>
 <b>Show Block: Treatment 2</b> (1 Question)				



# Randomizerの使い方（続き）

- ・「**Randomizer**」を選択
- ・ Control、Treatment1、Treatment2ブロックの「**Move**」をクリックしたまま、Randomizerの「Add a New Element Here」へドラッグ&ドロップ

The screenshot displays the Randomizer interface. At the top, a purple 'Randomizer' block is visible, showing 'Randomly present 1 of the following elements' and an 'Evenly Present Elements' checkbox. Below it, a grey 'Show Block: Control (1 Question)' block is shown. A green arrow points from the 'Randomizer' block to a green 'Add a New Element Here' area, which contains the text 'Drag and Drop to the desired location.' At the bottom, a grey 'Show Block: Treatment 2 (1 Question)' block is shown, with its 'Move' button highlighted by a red rectangle. The 'Move' button is located between the 'Add Below' and 'Duplicate' buttons.

# Randomizerの使い方（続き）

- Randomly present **1** of the following elementsと指定
  - ここをブロックの数（ここでは3）に指定すると、全ブロックが順番のみランダム化されて出力される
- Save Flowをクリックし、Previewで作動確認

The screenshot shows the 'Randomizer' block configuration in a software application. The 'Randomizer' block is highlighted with a blue border. It has a purple icon and the text 'Randomizer'. Below the icon, it says 'Randomly present' followed by a red-bordered box containing a minus sign, the number '1', and a plus sign, then 'of the following elements'. To the right of this is a checkbox labeled 'Evenly Present Elements'. At the bottom right of the block are five buttons: 'Add Below' (green), 'Move' (blue), 'Duplicate' (blue), 'Collapse' (blue), and 'Delete' (red). Below the 'Randomizer' block, there are three 'Show Block' blocks, each with a cube icon and a title: 'Show Block: Control (1 Question)', 'Show Block: Treatment 1 (1 Question)', and 'Show Block: Treatment 2 (1 Question)'. Each of these blocks has the same set of buttons at the bottom right: 'Add Below' (green), 'Move' (blue), 'Duplicate' (blue), and 'Delete' (red). At the bottom left, there is a blue arrow pointing down to a green text label 'Add a New Element Here'.

Randomizer

Randomly present **1** of the following elements ☐ Evenly Present Elements

Add Below Move Duplicate Collapse Delete

Show Block: Control (1 Question) Add Below Move Duplicate Delete

Show Block: Treatment 1 (1 Question) Add Below Move Duplicate Delete

Show Block: Treatment 2 (1 Question) Add Below Move Duplicate Delete

Add a New Element Here

# タイマーの追加

- Timerは**Timingが位置するページ（ブロックではない）のみ有効**
- Timerの目的
  1. 最初のクリックタイミング、最後のクリックタイミング、「次へ」ボタンをクリックしたタイミング、クリック回数の記録
  2. XX秒後に「次へ」ボタン出力 ← 文章を強制的に読ませる場合など
  3. XX秒後に自動的に次のページへ移動
- その他の使い方
  - 出現しなかったページはTimerが機能したいため、「どのブロックが出力されたか」が識別可能に
  - データエクスポートの際、「Export viewing order data for randomized surveys」を選択するとどのブロックが出現したか、どの順番で出力されたかは分かる



# タイマーの使い方

- Control、Treatment1、Treatment2を強制的に10秒以上読ませたい。
- Control、Treatment1、Treatment2ブロックに質問文を追加し、Question TypeはTiming
  - Control、Treat1、Treat2と同じページなら位置は関係ない
- 右側パネルの**Enable submit after** (seconds)を10に設定

▶ Efficacy 1 Question

Block Options ▾

Add Block

▼ Control

Block Options ▾

☒ T\_Control

This question lets you record and manage how long a participant spends on this page. This question will not be displayed to the participant.

☐ Control

海洋プラスチック汚染は、世界的に喫緊の環境問題となっています。科学者たちは、海洋中のプラスチック破片が海洋生物の生命を脅かすだけでなく、魚介類を食べる人々に対しても毒性があることを示しています。このような有害物質の摂取は、がん、免疫機能の低下、知的障害などの健康被害を引き起こす可能性があります。日本および韓国周辺の海洋におけるプラスチック汚染のレベルは、世界で最も高いレベルとされています。日本と韓国の各国で発生したプラスチック廃棄物は、海流の循環により相手を沿岸水域に到達し、深刻な海洋汚染を引き起こしています。

Timing ▾

Enable submit after (seconds)

⊖ 10 ⊕

Auto-advance after (seconds)

⊖ 0 ⊕

☐ Show Timer

Actions

☐ Add Page Break

☒ Add Display Logic

☒ Add Skip Logic

# タイマーの確認

- 回答者にタイマーは表示されない（Previewのみ表示される）

出現してから0.806秒後の状態

Timing

These page timer metrics will not be displayed to the recipient.

**Last Click** 0.806 seconds

Page Submit 0 seconds

**Click Count** 1 clicks

**海洋プラスチック汚染**は、世界的に喫緊の環境問題となっています。科学者たちは、海洋中のプラスチック破片が海洋生物の生命を脅かすだけでなく、魚介類を食べる人々に対しても毒性があることを示しています。このような有害物質の摂取は、がん、免疫機能の低下、知的障害などの**健康被害**を引き起こす可能性があります。**日本および韓国周辺の海洋**におけるプラスチック汚染のレベルは、世界で最も高いレベルと言われています。日本と韓国の各国で発生したプラスチック廃棄物は、海流の循環により**相手国の沿岸水域に到達し、深刻な海洋汚染を引き起こしています**。

この問題に対処するため、両政府は、**使い捨てのプラスチック製容器に課税すること**を検討しています。**税収はすべて、二国間の海洋汚染協調のために使われる**予定です。両政府は500mlペットボトル1本当たりの税の価格として、最大20円（約200ウォン）までを検討しています。



出現してから10.961秒後の状態

Timing

These page timer metrics will not be displayed to the recipient.

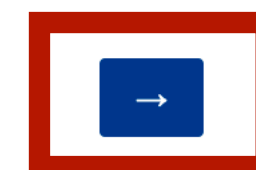
**Last Click** 10.961 seconds

Page Submit 0 seconds

**Click Count** 6 clicks

**海洋プラスチック汚染**は、世界的に喫緊の環境問題となっています。科学者たちは、海洋中のプラスチック破片が海洋生物の生命を脅かすだけでなく、魚介類を食べる人々に対しても毒性があることを示しています。このような有害物質の摂取は、がん、免疫機能の低下、知的障害などの**健康被害**を引き起こす可能性があります。**日本および韓国周辺の海洋**におけるプラスチック汚染のレベルは、世界で最も高いレベルと言われています。日本と韓国の各国で発生したプラスチック廃棄物は、海流の循環により**相手国の沿岸水域に到達し、深刻な海洋汚染を引き起こしています**。

この問題に対処するため、両政府は、**使い捨てのプラスチック製容器に課税すること**を検討しています。**税収はすべて、二国間の海洋汚染協調のために使われる**予定です。両政府は500mlペットボトル1本当たりの税の価格として、最大20円（約200ウォン）までを検討しています。





# Branchの使い方

- 調査同意書（Intro）に同意/不同意の選択肢を用意し、不同意の場合、調査を終了させる場合
  - IntroのQuestion TypeをMultiple Choiceに変更
  - Choicesの数は2、選択肢は「同意する」と「同意しない」
  - PositionはHorizontal（水平）

答された参加者のみ、調査会社のシステムを通して、本調査の参加後に報酬が与えられます。

京都大学、同志社大学、高麗大学（韓国）の研究者が実施しております。

および文部科学省・科学研究費補助金（課題番号：00000, 0000）および韓国XXXXXXの交付を受けた調査です。

関するご質問をお持ちの方や、調査の参加した結果によって損害を被ったと感じた方は調査委託業者までご連絡ください。

の画面へ進んでください。同意されない方は、現在のウィンドウを閉じて下さい。

同意する

☐

同意しない

☐

# Branchの使い方（続き）

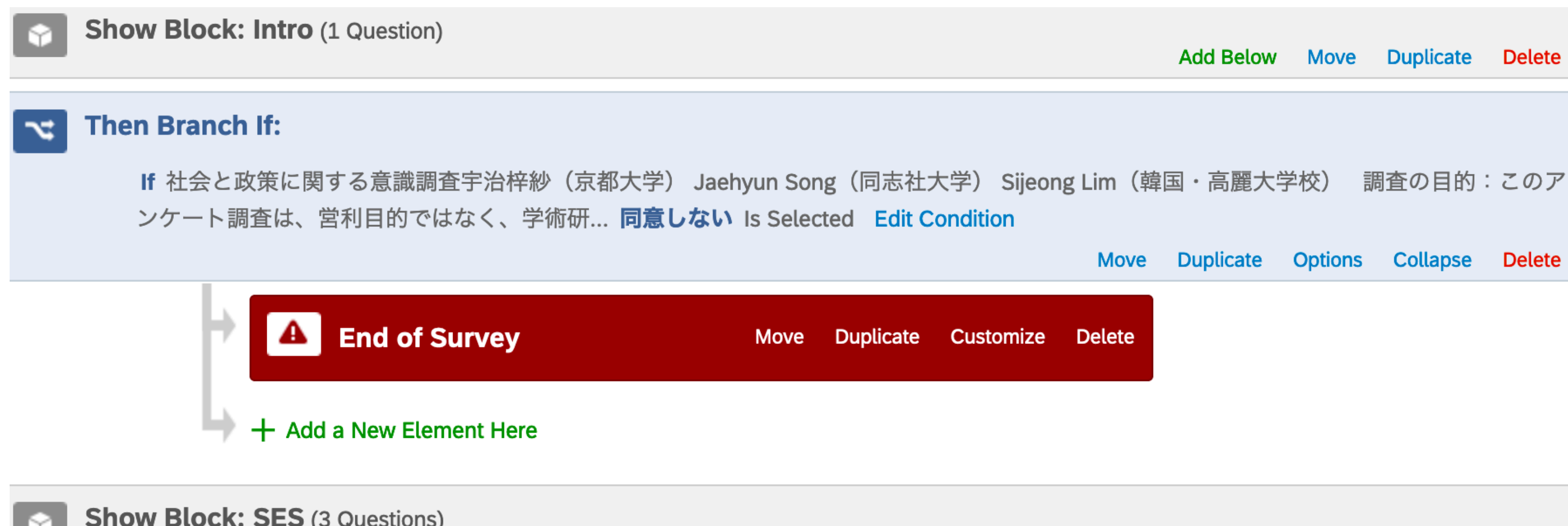
- Survey Flow→Introブロックの「Add Below」→「**Branch**」
- Add Conditionを選択 > 以下のように設定 > OK



**Then Branch If:**

Question ▾ Intro 社会と政策に関する意識...は、営利目的ではなく、学術研... ▾ 同意しない ▾ Is Selected ▾

- Branch下の「Add a New Element Here」を選択 > End of Survey
  - cf) 調査票最後のEoSは省略可能



**Show Block: Intro** (1 Question) [Add Below](#) [Move](#) [Duplicate](#) [Delete](#)

**Then Branch If:**

**If** 社会と政策に関する意識調査宇治梓紗（京都大学） Jaehyun Song（同志社大学） Sijeong Lim（韓国・高麗大学校） 調査の目的：このアンケート調査は、営利目的ではなく、学術研... [同意しない](#) Is Selected [Edit Condition](#)

[Move](#) [Duplicate](#) [Options](#) [Collapse](#) [Delete](#)

**End of Survey** [Move](#) [Duplicate](#) [Customize](#) [Delete](#)

[+ Add a New Element Here](#)

**Show Block: SES** (3 Questions)

実査に向けて



# 実査に向けて

- ・ 実査の手順
- ・ Preview
- ・ Publish
- ・ データのエクスポート
- ・ 調査票のバックアップ
  - ・ PDF、ワード、Qualtrics形式（qsf）
- ・ その他：Survey option、共同作業



# 実査の手順

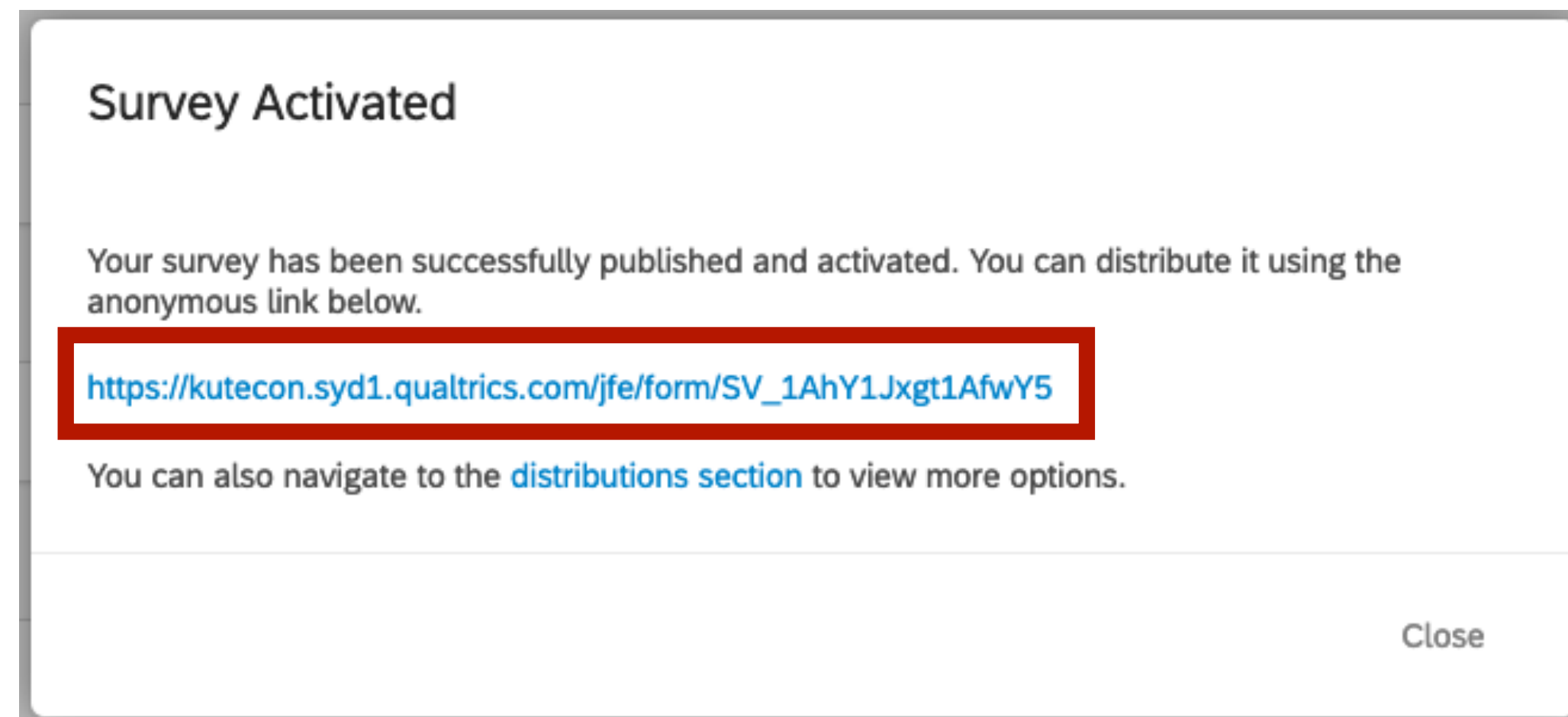
- ・ 調査会社によって仕様が異なるため、全て説明することは困難
  - ・ 特に調査会社とクラウドソーシングはやり方は完全に異なる
- ・ 楽天インサイトの例
  1. 楽天がパネルに調査票URLを送付する。調査票URLには回答者のパラメーターの追加され、GETメソッドでQualtrics側に渡される
    - ・ 例) [https://kutecon.au1.qualtrics.com/jfe/form/YZ\\_xXabcWXY0bqP1Zf?pid=xxxxxxx&uid=yyyyyyyyyy](https://kutecon.au1.qualtrics.com/jfe/form/YZ_xXabcWXY0bqP1Zf?pid=xxxxxxx&uid=yyyyyyyyyy)
  2. Survey Flow最上段にEmbedded Dataでpidとuidを追加し、パラメーターを取得し、データとして記録
  3. 調査終了時、楽天へリダイレクトさせる際、パラメーターをGETメソッドで渡す
    - ・ 例) [https://message.insight.rakuten.com/survey/Passback.do?pid=\\${e://Field/pid}&uid=\\${e://Field/uid}&st="s"](https://message.insight.rakuten.com/survey/Passback.do?pid=${e://Field/pid}&uid=${e://Field/uid}&st=)
- ・ 最近の調査会社ならQualtrics接続マニュアルを用意しているケースが多い
  - ・ 分からなかったら矢内先生に聞いてみましょう！

# Preview

- 調査票をPublishする前に**必ず**Previewする
  - RandomizerやBranch、Web Serviceを使う場合は何回もテストすること
- Previewの便利な機能
  - **Bookmark**
    - 重点的に確認したい箇所が調査後半の場合、Bookmarkを設定しておく と 便利
    - Bookmarkは一箇所のみ可能
    - Bookmarkへ飛ぶ場合、Bookmarkされたブロックより前にあるWeb ServiceやEmbedded Dataは評価されないため注意
  - **Ignore validation**（右上Tools > Ignore validation）
    - 強制回答を無視したい時に便利

# 調査票の配信（URL取得）

- ・ 調査票が完成したら画面上段の  Publish >  Publish
- ・ 調査票のURLが表示される




- ・ このURLが実査用のURL
  - ・ 調査会社経由で調査を行う場合にもこのURLを渡す

# Publish後の注意点

- 一旦Publishされた調査票は、調査票を修正しても反映されない。
- 修正した内容を反映するためには**もう一度Publish**する。
- 架空の事例 (本当に架空の事例)  
某私立D大学の助教Sはサーベイのソフトローンチ (soft launch) 後、サーベイロジックのミスに気づき急いで修正し、そのままフルローンチ (full launch) へ移行 → その結末は…?



# 調査の中断・終了

- ・ 方法1：画面上段の「Distributions」 > 
- ・ 方法2：最初のプロジェクト画面でプロジェクト右側の「…」 → 「Close」

途中回答も中断し、partial dataとして記録


途中回答は最後まで回答可能とする

### Pause Response Collection: KUT Qualtrics講習会

New survey sessions can not be started.

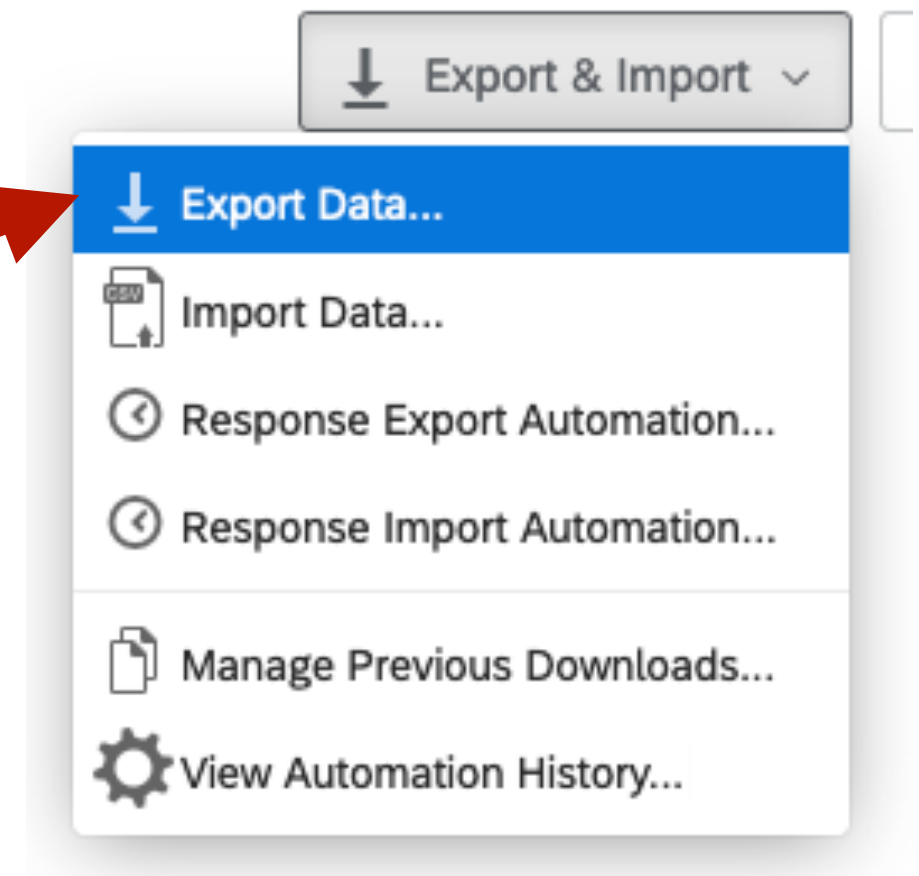
☒ Close all active survey sessions and record them as partial data.

☐ Allow all active survey sessions to be finished.

Cancel 

# データのエクスポート

- 調査票上段の **Data & Analysis** をクリック
- 画面右側の Export & Import > Export Data...
- 出力フォーマット、および値の形式を選択



出力フォーマット  
(CSV、またはTSV推奨)



## Comma separated values

This is a .csv file that can be imported into other programs. Each value in the response is separated by a comma and each response is separated by a newline character. If your responses contain special characters and you will open this export in Microsoft Excel we recommend using the TSV export. Qualtrics CSV exports use UTF-8 encoding, which Excel will not open correctly by default.

[Learn more](#)

☒ Download all fields

☐ Use numeric values

☒ Use choice text

Use numeric values

- 1, 2, 3, 4, 5

Use choice text

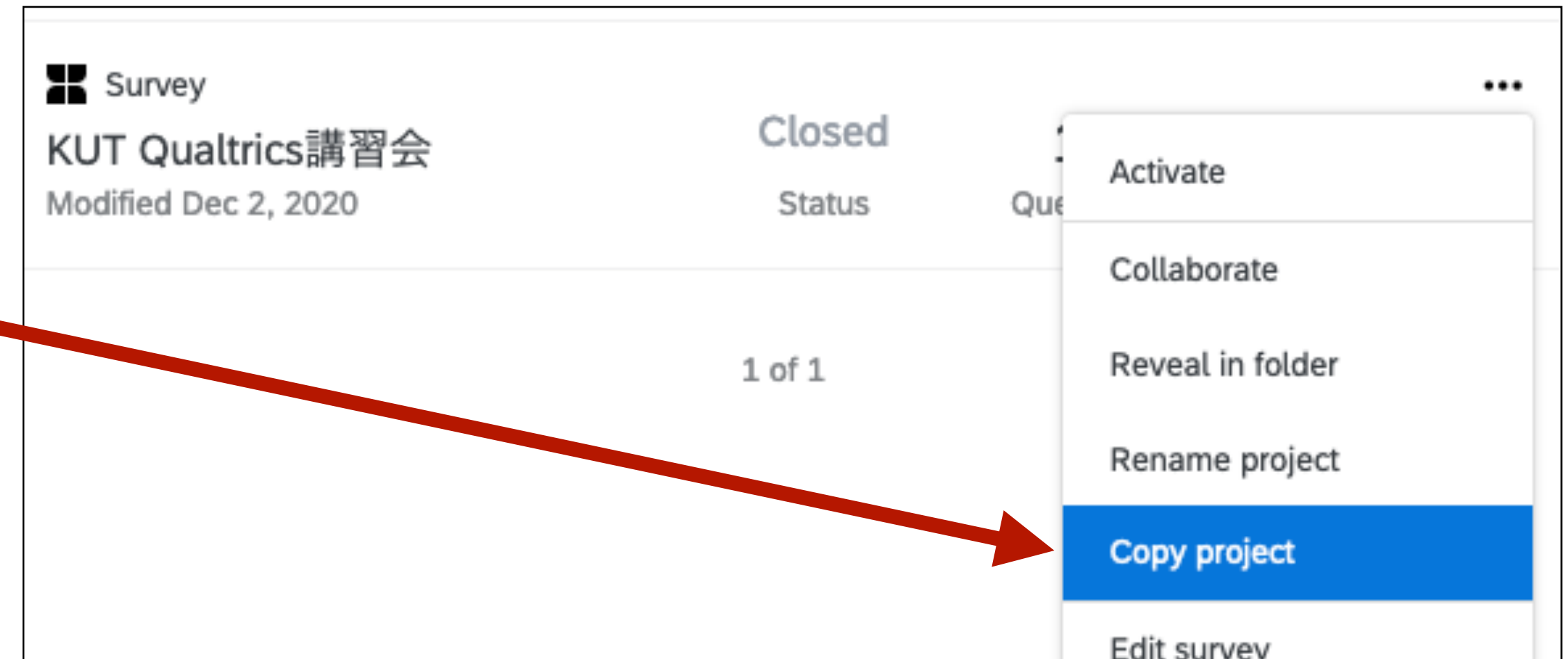
- 強く賛成、やや賛成...

# データのエクスポート（続き）

- 下段のMore optionsをクリックすると、詳細な設定が可能
  - 宋の場合
    - 「Compress data as .zip data」のチェック解除
    - 「Export viewing order data for randomized surveys」にチェック
    - ランダマイザーがある場合、出現有無 or 順番が記録される
    - 「Split multi-value fields into columns」にチェック
    - 複数回答項目（例: 拒否政党）をダミー変数化
- ☐ Compress data as .zip file  
☐ Use commas for decimals  
☒ Remove line breaks  
☐ Recode seen but unanswered questions as -99  
☐ Recode seen but unanswered multi-value fields as 0  
☒ Export viewing order data for randomized surveys  
☒ Split multi-value fields into columns  
☐ Use internal IDs in header

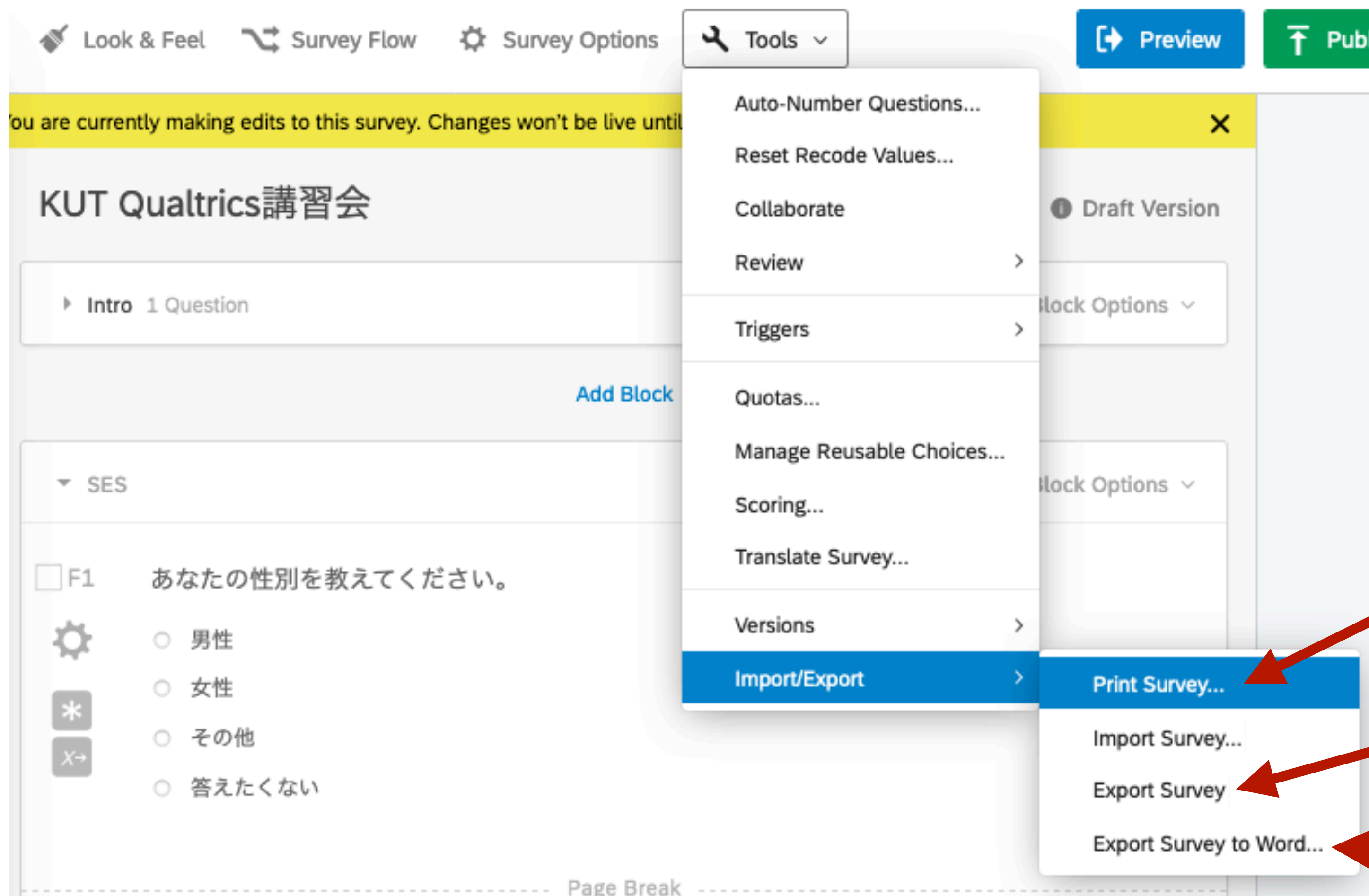
# 調査票のバックアップ

- 調査票をコピーする
  - 調査票一覧画面でCopy Project
- ファイルとして保存する
  - 保存の方法は次のスライドで
  - PDF: 回答者側から見た調査票の出力
  - Word: Survey flow、割り当てられた値などの情報が含まれる
  - qsf: Qualtricsフォーマット。Qualtricsにインポートすると同じ調査票に





# 調査票のバックアップ（続き）




印刷（PDFとして保存可）

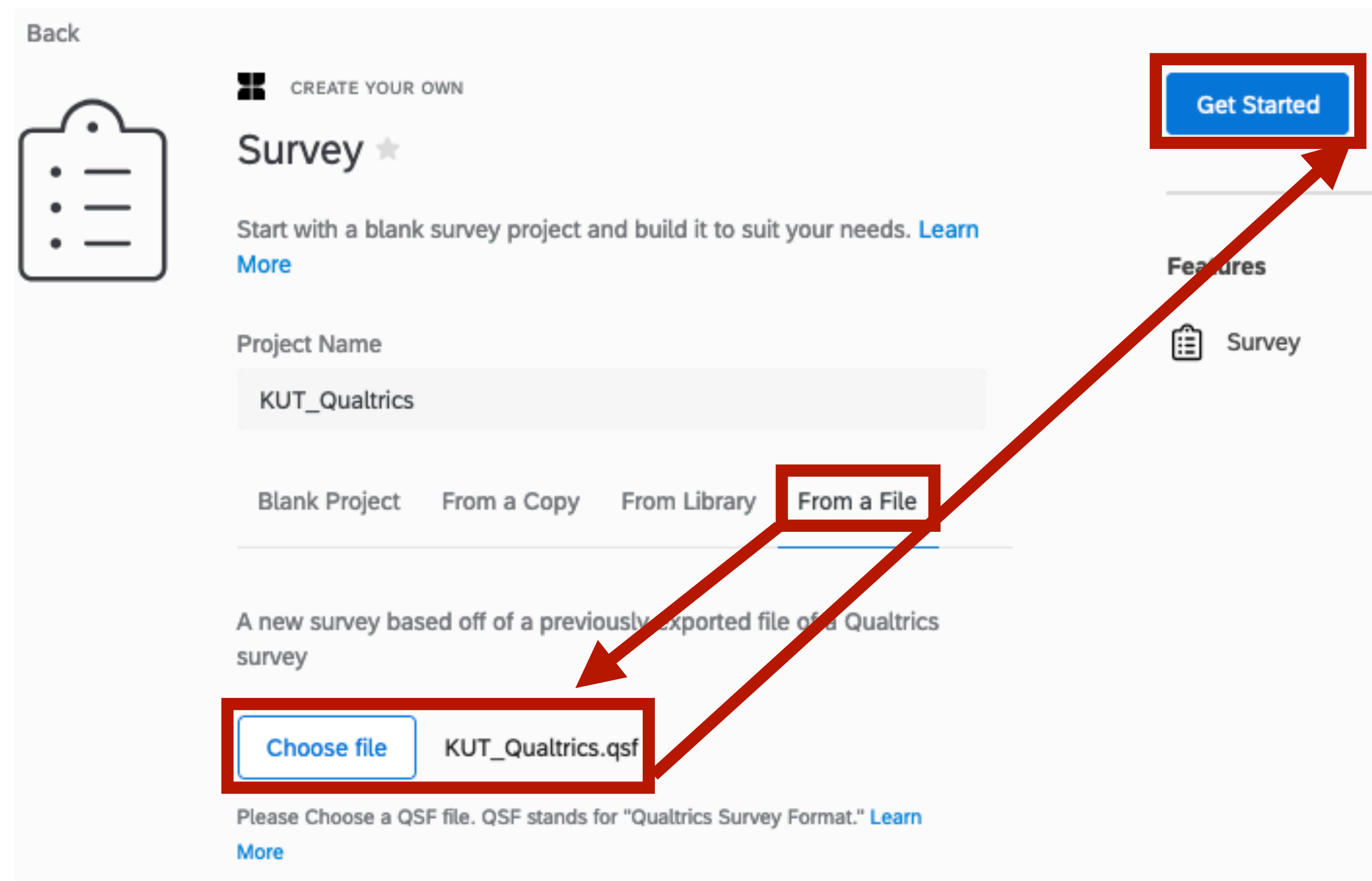
qsfファイルで保存

Word形式で保存



# qsfファイルのインポート

- ・ プロジェクト一覧画面で [Create new project](#)
- ・  Survey を選択
- ・ From a Fileから、ファイルを選択し、 [Get Started](#)



# Survey options (1)

- 調査票画面上段の ⚙ Survey Options
- 以下では宋が主に設定する項目

「前へ」ボタンの追加（デフォルトはOFF）  
（ランダムマイザー/Web Serviceが埋め込まれている場合は注意）

Survey  
Experience



☐ **Back Button.** Enable respondents to change their responses.

☒ **Save and Continue.** Allow respondents to save and continue later.

☐ **Show Question Numbers.** Great for previews. For participants, try a [Progress Bar](#) instead.

☐ **Use Custom Survey Validation Messages...**

言語設定（調査票の言語でなく、エラーメッセージなどの言語）

**Survey Language:**  The language the survey is written in.

**Survey Title:**  This text will appear in the browser as the window or tab title.

**Meta Description:**  Search engines and social media services use this description.

調査票のタイトル

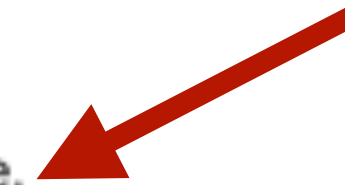
# Survey options (2)

## Survey Protection



- ☒ **Open Access.** Allow anyone to take this survey.
- ☐ **By Invitation Only.** Prevent people from taking the survey using an anonymous survey link.
- ☐ **Password Protection.** This password must be entered to take this survey:
- ☐ **Prevent Ballot Box Stuffing.** Keep people from taking this survey more than once.
- ☐ **Bot Detection.** Flag suspicious responses using [reCAPTCHA](#).
- ☐ **Email Scan Roadblock.** Use [ReCAPTCHA](#) to prevent security scanners from starting surveys when testing your survey links.
- ☐ **RelevantID.** Flag suspicious panel respondents using [RelevantID](#).
- ☐ **HTTP Referrer Verification.** The user must come from this URL to take the survey:
- ☒ **Prevent Indexing.** A tag will be added to the survey to prevent search engines from indexing it.
- ☒ **Secure Participants' Files.** Files uploaded as responses can only be viewed by users with permission to view responses.
- ☐ Show a **custom message** when a respondent revisits a **previously completed** link..
- ☐ **Survey Expiration.** The survey will only be available for a specified date range.

同一回答者の複数回回答を拒否  
デフォルトはOFFであるが、推奨はON



# Survey options (3)

調査終了後、調査会社側のページへ  
リダイレクトさせる場合チェックし、  
リダイレクト先（URL）を入力

Survey  
Termination



- ☒ **Default** end of survey message.
- ☐ **Custom** end of survey message...
- ☐ Show Response Summary.
- ☐ **Redirect** to a full URL, ex. "https://www.qualtrics.com"
- ☐ Send additional thank you **email** from a library... When distributed via the Survey Mailer.
- ☐ **Anonymize Response.** Do NOT record any personal information and remove contact association.

# Qualtrics色々

- Quotaの設定：Tools > Quotas…（やや使いにくい）
- Scoring: Tools > Scoring…（Qualtricsを利用したテストなどに使用）
- Web Service
  - Qualtricsのセールスポイント（？）
  - 外部のサーバーとデータの送受信が可能
    - 外部サーバーにはGETメソッドでパラメーター送信
    - Json形式でデータの受信
- Offline調査：ネットが使用できない地域での調査
  - ただし、KUTライセンスでは契約していない（多分）
- その他